

第3回 恵庭創生懇談会 議事録【要約】

(第3回)

議題：(1) 恵庭市人口ビジョン案について (2) 恵庭市総合戦略案について

日時： 平成27年10月21日 15:00～16:30	場所： 恵庭市民会館第1会議室
出席者： 北海道大学公共政策大学院特任教授	小磯 修二
恵庭工業クラブ サッポロビール(株)北海道工場 副工場長	増淵 隆昭
北海道文教大学 こども発達学科 講師	井上 大樹
学校法人産業技術学園 事務局長	切明 毅
北洋銀行恵庭中央支店長	小松 節男
北海道銀行恵庭支店長	高橋 克巳
恵庭市政記者クラブ 千歳民報社 代表	大澤 雅松
連合北海道恵庭地区連合 執行委員	田中 義範
千歳公共職業安定所 所長	曾根 文儀
北海道石狩振興局地域政策部戦略策定支援担当部長	田辺 きよみ
作成部署： 企画・広報課 総合戦略担当	作成者： 松居 友輝

議事録内容(1/4)

	会議次第
	1. 開催あいさつ
	2. 議 事
	(1) 恵庭市人口ビジョン案について
	(2) 恵庭市総合戦略案について
	3. その他
司会	委員出席にあたっての感謝。
(林企画振興部次長)	株式会社キクザワ 代表取締役菊澤委員欠席の報告
原田市長	第3回恵庭創生懇談会開催にあたっての挨拶。 第3回恵庭創生懇談会での議論への期待。 委員出席にあたっての感謝。
小磯座長	第3回恵庭創生懇談会開催にあたっての挨拶。 第3回恵庭創生懇談会の進行方法。
事務局	事務局より(1) 恵庭市人口ビジョン案について(2) 恵庭市総合戦略案について説明。 9月に実施したパブリックコメントの結果公表。 前回からの変更点について説明。 人口ビジョン(案)P11、地域の産業・雇用創造チャートを示した。 P12～14、昼夜間人口と通勤、通学の状況を示した。 P21、固定資産決定価格、市民総所得を示した。 「ひと」に関わる現状分析で、転入者による社会増で若者の流出や出生率の低さをカバーしている傾向。

議事録内容(2/4)

事務局(続き)	<p>「しごと」に関わる現状分析で、生産人口が検証している中で高齢者や女性の活躍できる場を創造したいと考えている。</p> <p>「まち」に関わる現状分析で、恵庭の自然、景観など「花・水・緑」をコンセプトに、交流人口増を目指したい、などについて説明。</p> <p>総合戦略(案)P2、数値目標について説明。</p> <p>P3～9で新たに加えた重要業績評価指標(KPI)の説明。</p> <p>P12～14で、恵庭市が人口減少に負けないための3本の戦略の説明。</p> <p>人口ビジョンP43、人口の将来展望を示した。</p> <p>今後の予定、などについて説明。</p> <p>【各委員から人口ビジョンと総合戦略について意見、提言】</p>
A委員	<p>雇用と定住についての説明。雇用が安定すれば、定住に結びつく。</p> <p>ハローワークに登録している求職者数が減少している状況だが、女性の就業など潜在的な部分の発掘も必要。</p> <p>ハローワークでより多くの正社員求人を中心とした求人情報を提供できるように取組みたい。</p> <p>地域に様々な雇用が広まっていくはず。</p>
B委員	<p>総合戦略は恵庭の特徴が出たものであるべきとの指摘。</p> <p>もっと恵庭の良いところ、悪いところを含めて前面に打ち出すべき。</p> <p>地方創生は恵庭にすでにある優れた部分を伸ばし、投資を重ねて、施策でつなげるやり方が効果的であり、国、道、市民の協力、支援が得られる。</p> <p>総合戦略の目的の部分に恵庭の優位性、住み良さをアピールする文言の追加。</p> <p>⑨防災環境の充実に、恵庭市は安全で住みやすいということをアピールした文章の追加の提案。</p>
小磯座長	<p>大切な意見。</p> <p>人口減少とどう向き合うか、恵庭の特性を踏まえた総合戦略であるべき。</p>
C委員	<p>北海道銀行とJTIさんとの業務提携を始め、北海道銀行のネットワークを活かして恵庭への移住、住みやすいまちづくりのバックアップをしていきたい。</p> <p>恵庭市の工業団地を活かした施策、例えば四高専企業の説明会等を開催して、雇用の拡大に協力したい。</p> <p>恵庭の自然、食は非常にレベルが高い。</p> <p>そのような資源をオースタムフェストやふるさと納税で恵庭の優れた特性をPRすることも必要。</p>
D委員	<p>公有地の宅地造成は地元の企業を参画させるべき。</p> <p>恵庭の婚活事業について、もっと恵庭をPRできるような婚活事業を展開すべき。</p> <p>恵庭は他の市町村と違い、大都市が近く、自然も多い。若者が集まる環境が充実している。</p> <p>婚活事業で女性と若い自衛隊さん、農家さんを組み合わせることができれば、若者が増えるはず。</p> <p>保育園・幼稚園の支援ができれば、雇用と子育て支援につながるのでは。</p>
E委員	<p>高等教育機関として、恵庭市にどう貢献出来るのかを考えている。</p> <p>たとえば、恵庭市の特産物を活かし、実際に学生がパンの商品企画を行って、恵庭市長にも試食していただいた。</p> <p>「フーレめぐみの」という子育て広場を運営しており、本校の養成している職業を、こどもたちに体験させることが出来れば、こどもたちの就労観を養える全国でも有数の子育て広場になる。</p> <p>また、本校の特徴である北海道ハイテクACや、総合型地域スポーツクラブの「jikeiスポーツクラブえにわ」で、運動やスポーツを通じたまちづくりに貢献出来る。</p> <p>動物系の学校では動物愛護や自然環境という視点で特徴を打ち出せる。</p> <p>若い学生の考えを、恵庭市に還元出来るようにしたい。</p> <p>課題としては高等教育機関を卒業した学生の定着。本校の全学科が恵庭に就職することは難しい。</p> <p>そこで、起業を考えている学生の養成も重要となってくる。</p> <p>起業する卒業生を多く輩出出来れば、恵庭市にも貢献出来るはず。</p>

議事録内容(3/4)

F委員	<p>人口ビジョンの合計特殊出生率1.8という期待値は非常に難しいので、まち全体での子育て支援が必要。</p> <p>人口減少対策をした結果、そこに住んでいる方々がどうなったかの議論がされない不安があり、まちの中に生き残れる人と、生き残れない人を分けてしまう恐れがあるが、当懇談会では様々な層の立場の議論がされ、まち全体の経済や暮らしの底上げが必要であるとの共有がなされていると感じる。</p> <p>子どもの育ち、底上げという点では生活が厳しい子育て家庭が増えている中、貧困対策が重要。</p> <p>当校としても貧困家庭の子どもたちの教育を支援していけるようなボランティアをしていきたい。</p> <p>全ての子どもたちの育ちや幸せを保障できる仕組みがあれば、子育て世帯に対する絶好のPRになる。</p> <p>道立高校と地元自治体の連携が必要であり、しっかり結びつけば北海道の人材育成の底上げができ、人づくりとして地域経済に貢献できる。</p>
G委員	<p>サッポロビールでも工場見学を実施しているが、14%～15%が外国人客であり、札幌の施設では40%が外国人客で占められ、個人客が年々増えてきている。</p> <p>1社の工場見学だけでなく、恵庭の牧場と工場、公園と工場等セットで観光戦略を展開すべき。</p> <p>恵庭の総合力で観光施策を展開すると有効と考える。</p> <p>KPIの設定で言えば、もう一工夫必要。</p> <p>地域産業の活性化では、産官学金の連携による地元企業の活性化の手段として、ふるさと納税で恵庭の特性をPRすることも必要。</p> <p>ふるさと納税の返礼として、恵庭の産物セットを設けて展開すると効果的だと考える。</p> <p>また、立地を選ばない業種(IT業界等)の起業に需要があり、恵庭の暮らしやすさと合わせると効果がある。</p> <p>交流人口増では、情報の共有が大事で、移住者がすぐに定着できるようにイベントや学びの場、地域に出やすい環境を整えるべき。</p>
H委員	<p>恵庭の水を活かした食品業の企業誘致をすべき。</p> <p>恵庭市だけでは難しいことがあるので、道央圏を中心として隣接都市と恵庭で盛り上げることが重要。</p> <p>団塊の世代に向けたハローワークの求人の充実性を求める。</p> <p>今の高齢者は経験も持っているし、働き手にもなる。色々な形で活用できる。</p> <p>恵庭は他の市と違って、年齢層が高い部分でも働き場所があるとなれば、全国にPRできる一つの手がかりになる。</p> <p>他の委員も言われた起業家支援、ふるさと納税の活用も必要。</p> <p>恵庭・恵み野・島松駅の3駅の活性化の重要性。エコバス活用法の課題。</p>
I委員	<p>この数値目標とKPIでは、市民に進捗状況を説明できるか心配。</p> <p>5年間毎年、進捗状況を検証していく際、どれくらいの達成度なのか具体的な数値が不足していると説明が難しい。</p> <p>また、人口ビジョンの現状分析等のまとめに記載している内容を、総合戦略の基本目標に入れば、目標達成に向けて恵庭らしさを引き出すストーリーづけができるのでは。</p> <p>総合戦略P12～P14の横串の横断的施策が全体の進むべき方向として市民にもわかりやすいと思う。</p> <p>次に、全体を通して「連携」がキーワードになってくる。地域間、都市間の交流は必須。</p> <p>総合戦略推進の主体が市だけでなく、産官学金と連携した体制が重要。</p> <p>さらに出生率の向上対策について、書き方が消極的と感じる。</p> <p>P9は「転入者の増加」だけでなく自然増対策でもあることを書いてはどうか。</p>
小磯座長	<p>北海道の立場からのかなり重い意見。</p> <p>数値目標と基本目標の部分について、事務局の説明を求む。</p>
事務局	<p>数値目標については議論しているが、結果として抽象的な表現としている。</p> <p>数値目標について、皆様のご意見をお伺いしたい。</p> <p>基本目標については、編集の工夫をしたい。</p>
I委員	<p>PDCAサイクルを実施するためには、進捗状況を客観的に検証できることが求められる。</p>
原田市長	<p>数値目標はあらためて検討する。</p> <p>入れ込める数値については、入れていきたい。</p>

議事録内容(4/4)

小磯座長	<p>確かにKPIは上昇というだけでは少し物足りない感じはする。イメージの伝わるような表現を工夫してみては。</p> <p>最後に、地方創生の最大の問題は、人口減少によって多くの若者が特に地方から首都圏に流出、結果的に若い女性が首都圏に集まることによって、首都圏の出生率が低くなり負のスパイラルが生まれること。</p> <p>3つの柱を総合戦略の基軸として提起しているところを見ると、恵庭らしい総合戦略になったと感じる。</p> <p>人口減少が進行している中、18歳から22歳の若者が集まる恵庭は素晴らしいし、若者を活用できれば、より輝きを放つ。</p> <p>人口減少時代における政策として、観光が一番大事。</p> <p>これまでの北海道は域内需要で賄われてきたが、これからの北海道の観光戦略は域外の需要からいかに取り込んでくるか。</p> <p>そういう中で恵庭は恵まれた地域にいる。新千歳空港を玄関とした千歳—恵庭間の観光戦略が必須であり、恵庭の消費にどれだけ結び付けていけるか。</p> <p>それによって、恵庭の産業・雇用を安定させることが大切で、総合計画でも示している重要な部分。</p> <p>次に人口ビジョンと総合戦略の関係ですが、人口というのは政策の積み上げの結果出てくるものであって、総合戦略をしっかり積み上げれば、人口減を防ぐことができる可能性を示すことであり、恵庭としての人口減少下における政策がわかる形で組み立てれば良い。</p> <p>そして、市民向けにこれから10年、20年と続く人口減少時代で、恵庭はどう生き延びていくのか。</p> <p>そのメッセージを市役所と市民が共有することが大切で、示し方を工夫しながら取組んでいくことも重要。</p> <p>今回、国が地方創生で提起した政策の問題点は、市町村単位で総合戦略の策定を求めたこと。</p> <p>人口減少社会は色んなニーズに対して、より広域的に向き合っていかなければならないという矛盾。</p> <p>一つの市だけで政策を行なうのは限界があり、ある程度、割り切った政策づくりが必要。</p> <p>今後のスケジュールの確認。</p>
事務局	<p>今日いただいた委員の皆さんのご意見を踏まえて市が総合戦略を修正していく中で、小磯座長と相談し、最終的に決定していくこととして良いか。</p> <p>(全委員了承)</p>
事務局	<p>今後のスケジュールの説明。</p> <p>今回で最終の懇談会になるが、今後次年度以降の検証体制の検討、協力を要請することも検討。</p>
原田市長	<p>第3回恵庭創生懇談会開催にあたっての感謝。</p> <p>今日いただいた意見は小磯座長と相談し、完成させる。</p> <p>総合戦略は、市民一体となって行なうものの一つの指針となる。</p> <p>KPIの行く末は「市民がふるさとに誇りを持って幸せに生きる」ことを目指したい。</p> <p>北海道暮らしフェアに参加した職員の感想。</p> <p>以前は北海道に観光気分で、ちょっとだけ暮らしたいという比較的年齢層が高い方が多かったが、今回は若い夫婦も多かった。都会での子育ては大変であり、もっと子育てしやすいような環境と仕事、そして住居があれば恵庭に来たいという方がたくさんいたようだ。そういった若い家庭や様々なライフスタイル、自然を愛したいという方々の受け皿に北海道はなれるだろうし、恵庭として全国に提供したい。</p> <p>第3回恵庭創生懇談会開催にあたっての感謝。</p>
司会	<p>第3回恵庭創生懇談会の終了。</p>